



愛川ふれあいの村 今月の風景

## 2021年3月 自然のたより

3月の愛川ふれあいの村は、自然が躍動する春をたくさんの人に見てほしいと、植物や鳥たちが春の陽気に誘われるように村のあちこちで姿を現しています。可憐な姿の『カタクリ』やいつも清楚な『スミレ』、別れや出会いを伝える『サクラ』や『タンポポ』、婚活に勤しむ『マヒワ』や『アトリ』、楽し気に新居を作る『エナガ』のつがい等々。コロナ禍での自粛生活はしばらく続きますが、春の自然の営みを『自然のたより』で感じていただけましたら幸いです。(加藤)



シダレザクラと管理棟



アオイスミレ



ホトケノザ



エナガの巣材集め



ミツマタ



セントウソウ



頭が黒くなったアトリ



フキノトウ



オオアラセイトウ



カタクリ



シロバナタンポポ



ウグイスカグラ



サンシュユ



ヒオドシチョウ



ハナノキ



## トピックス ★巣ごもり生活★

おうち生活、いかがお過ごしですか。家での可能性をいろいろと試し楽しんでいる方やもう退屈という方、様々な意見があるのではないのでしょうか。

今回紹介するのは、感染症対策以前から行われていた「生き物たちの巣ごもり」について。なんでも人だけではない。一生巣の中かもしれない。そんな生き物について共感していただけたらと思います。

アリはよく外出していると思うかもしれませんが、女王は一生のほとんどを巣の中で過ごします。さらに、女王の世話をするアリも、子育てをするアリもほぼ巣から出ません。アリと比べられても…という感じですよ。

他にも最近村で姿を見たノウサギも、日中は巣の中でのんびり過ごして、夜になると外出します。「外出しているだろ！」と思うかもしれませんが、生き物は餌を食べるために必死です。必要な外出ですね。

村にいるコウモリやムササビ、フクロウなど巣がある生き物たちは無駄に外出をしないのです。エネルギーを消費してしまうため、動かないことが一番。しかし、生きるためには食べないとはいけません。ただ、遊ぶために出歩くということはしないと思います。人も一緒ですね。生きるために働いて、食べるために買い物に行きます。必要な外出です。日常に戻るのはいつになるかわかりません。それまでは、 unnecessary 外出は避けて、おうち生活を全うしましょう。(石川)



アリの巣



ムササビの巣

## 生き物 ★パンダ★

上野動物園の今の話題は、今月のはじめジャイアントパンダの発情が見られ、その後、交尾行動も確認された報道です。生まれてくれば、シャンシャン（現在3ヶ月）の弟か妹になるかな。

さて、先日とある湖にカモの観察に行きました。数種類のカモを写真に収めてのんびり湖畔を散策していると、遠くの湖面に白い鳥が浮かんでいます。ユリカモメかなと思いカメラを向けると前から会いたいと思っていた『ミコアイサ』というカモの仲間です。目の周りが黒く、体全体の白と黒の模様は別名『パンダカモ』とも呼ばれています。シベリア方面から冬鳥として日本の湖沼に渡ってきます。機会があればぜひ、パンダのようなカモを探してみてください。出会えたらきっと感激します。(高梨)



## 旬 ★菜の花★

春を告げる代表的な花『菜の花』黄色く広がる菜の花畑を見ると、春が来たとうキウキします。

菜の花は、アブラナ科アブラナ属の花の総称。菜の花の菜は食用を意味するため、菜の花は食用の花という意味で、ビタミンCやミネラルが豊富な緑黄色野菜です。

菜の花は少し苦みがありますが、つぼみも茎も美味しく食べることができ、茎についた葉も柔らかいので一緒に食べられます。お吸い物・おひたし・炒め物・天ぷら等美味しいです。菜の花を食べ春の訪れを感じてみませんか。

(菅原)



来月の見どころ **バッコヤナギ**  
アフガニスタン・シヤララバードで亡くなられた中村哲医師は干ばつや戦いで荒廃した国を医療や灌漑事業で復興支援を行った。ヤナギの木は曲げることができても折れることなく強いので、水路の建設で行う柳枝工（オウシュウ）の優れた材料として使われていた。用水路、排水路、護岸工事、のり面工事などその用途に応じて工夫され使われている。日本のヤナギの仲間は、三十種以上あり山野の水辺に生える種類が多い。

似ているのでヤマネコヤナギと言おう。  
ヤマネコヤナギに出会ったのは十七年前のこと。見栄えの良くない苔むした倒木を片付けようとした時、木の端から小指くらいの枝が出て数枚の黄緑の葉が互生しているのが見えた。「生きています」みんな話しかけて保護することになった。一度倒れた木が逞しく生き返った生命力を子どもたちに伝えたいと思った。現在、ふれあいの村では『木ラリー』に使用されているのは是非見てほしい。(吉田)

